



新しい越前漆器、期待

ありま けいしん
有馬 慶真さん(三国中3年)



東京五輪 商機に見据え

福井県漆器協同組合は、東京五輪に向けた海外展開を推進し、漆器の海外進出を推進しようとしている。漆器の海外進出を推進しようとしている。漆器の海外進出を推進しようとしている。

漆器 世界仕様へ「塾」

越前漆器協同組合は、漆器の海外進出を推進しようとしている。漆器の海外進出を推進しようとしている。漆器の海外進出を推進しようとしている。

目されるかもしれない。外国の人も使いたいと思うような漆器をぜひ作ってほしいと思う。また、伝統的な漆器に外国の文化を取り入れることで、日本人の目もひく、新しい様式やデザインの漆器が生まれ、広まっていくかもしれない。この福井から、漆器の新たな時代がつけられていくチャンスだと思う。

僕も越前漆器を応援するために、機会があれば、福井で作られた漆器を買ったり、使ったりしてみたい。福井の越前漆器がこれからどんな新しいものになっていくか、とても楽しみだ。

福井の伝統工芸である越前漆器の海外進出を推進しようと、越前漆器協同組合が新たな商品開発に取り組む「漆夜学塾」を展開するそうだ。2020年の東京五輪には多くの外国人が来日することが見込まれているので、それまでに販売開始することを目指している。

この新しい試みにより、福井県の伝統産業が活性化し、県外、さらには海外からも注